

2026年度古野給付奨学生（大学院生）

推薦募集要項

公益財団法人 同盟育成会

奨学金の額

月額6万円、年間72万円（返済不要）

給付期間

奨学生採用が決まった年の年度初めから、在籍大学院修士課程（または博士課程前期）修了時まで（最長2年間）とします。

奨学生が退学したとき、病気などで成業の見込みがなくなったとき、または、学業成績、性行が不良と認められるときは、奨学金を打ち切ります。

応募者の資格

1、2026年4月に、日本の大学院修士課程または博士課程前期に進学し（修士課程、博士課程前期1年生）、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指し勉学に励んでいる方およびメディア関係全般での就業・研究を目指している方。

ただし、修了後の進路まで拘束するものではありません。結果的に異なる分野に進まれても問題はありません。

1、志操堅固、健康優良で、学業成績優秀な方（学部3、4年生時に優あるいは優相当以上の評価が5割以上）。

1、学費の援助が必要と認められる方。
他の奨学金との併給は可能です。

応募方法 ※学内選考通過者のみ提出

1、大学を通じて応募。奨学金希望者本人から直接の申し込みは受け付けません。

1、各大学3名までの推薦者を決め、以下の書類を添えて当財団へお送りください。

① 給付奨学生推薦書（大学学長の捺印が必要。書式は当財団ホームページからダウンロード可）

② 給付奨学生申込書（本人が記入。書式は当財団ホームページからダウンロード可）

③ レポート（大学院進学の目的及び修士課程で予定している研究テーマについて、1,000字以内A4横書き1枚、研究テーマ、学校名、名前を明記のこと）

④ 学部3、4年生時の成績証明書

⑤ 大学院の在学証明書

⑥ 父母等の「住民税 特別徴収税額の決定・変更通知書」または「住民税課税（非課税）証明書（収入金額が記載されていること）」（2025年度、コピー可）

※収入がない場合でも「非課税証明書」が必要です。

（申込書類に記載された個人情報については当財団にて厳重に管理され、奨学生選考審査、及び、奨学生に対する奨学金送金、事務連絡業務以外の目的に利用する事はありません）

応募期間 学内〆切 3月4日

募集定員

20人

選考の流れ

2026年6月2日の当財団の奨学生選考委員会に諮って合否を決定、結果は本人と大学あてに郵便でお知らせします。応募書類選考通過者を対象にオンライン面接を行う場合があります。

奨学金の送金

奨学金振込先口座番号（本人名義のゆうちょ銀行総合口座）を提出していただきます。8月初めに初回の奨学金（4～9月の6カ月分、36万円）を振り込みます。10月以降は、偶数月に2カ月分ずつの振り込みとなります。

奨学生の義務

1、研究レポートの提出

初年度の7月と12月、及び次年度の7月に、研究テーマに関するレポート（1,000字以内 A4横書き1枚）を、また、次年度の12月には、修士論文を（2,000字以内 A4横書き2枚）に要約したものを提出してもらいます。

1、奨学生アンケートの提出

毎年11月上旬に奨学金の活用状況等に関するアンケートを実施します。

1、研修会への出席

7月懇親会、10月オンライン、2月日本プレスセンターホールで開催する奨学生研修会に参加してもらいます。

参加者には交通費（公共交通機関利用時の実費）を支給します。

正当な理由なく上記の義務を履行しなかった場合、奨学金を打ち切ることがあります。

以上